

東京・築地市場を歩く

前にもレポートに書いたように、東京に行った時はよく築地市場を訪ねる。「東京の

台所」と呼ばれる築地市場は、水産物・青果仲卸店が 800 以上も集まる日本最大の市場であり、正式には「東京中央卸売市場築地市場」という。1935 年の開設以来 70 数年の歴史を有する世界最大級の水産物市場であり、連日 5 万人余りが訪れるという。外国人観光客も多い。



今回初めて平日の朝 9 時に行くことができ、活気あふれる市場の雰囲気味わうことができた。買出し荷物を運ぶ車やバイクなどであふれ、横断するのに注意が必要だった。場内北西にある「魚がし横丁」には、朝早くから観光客で一杯で、寿司屋の前には長い行列ができていた。空腹の中美味しい寿司を食べたかったが、残念ながらあきらめた。

この築地市場がいま大きく揺れている。築地は東京都が誘致を進める 2016 年夏季オリンピ



ックの「メディアセンター」予定地とされ、築地市場は江東区の東京ガス豊洲工場跡地に移転させる計画という。ここは有害物質で土壌や地下水が汚染されており、市場を移転させるには問題が多すぎる。オリンピックとともに、築地市場の動向に目が離せない。

(2009 年 6 月 12 日 記)